

区政のここをきく

6月26日、28日の本会議にて、一般質問が行われました

一般質問要旨



これからの街づくりと福祉施策について

茂木 弘
(自民党・次世代)



これからの街づくりについて

問 条例でマンション建設を規制するには限界があることは承知しているが、これからの荒川区をどのような街にしていこうと考えているのか、区の見解を問う。また、マンションが増えることで、周辺住民と転入者が共存し住みやすい街にすることが必要だと考えるが、区の見解を問う。

答 区では地区計画を定め、周辺の住環境との調和を図ることを目指し取り組んできた。また、転入者に対しては、パンフレットの配付や事業者への指導等により町会加入の促進を図っている。今後も良好な住環境の確保と豊かな地域コミュニティの調和を目指し、まちづくりを進めていく。

問 小中学校は児童生徒数の増加が見込まれており、老朽化対策として建て替えも検討されている。児童生徒数の動向を見据えた建て替え計画とすべきと考えるが、区の見解を問う。

答 これまで、普通教室の整備や増設校舎の建設等、各校の実態に即した対応を行ってきた。今後も、児童生徒数の動向を可能な限り見極め、具体的な校舎建て替え計画の策定を図り、児童生徒の良好な環境整備に取り組んでいく。

問 区の用地取得では、相手のある話であり、区の適正価格を超えた交渉が難しいことは理解できるが、あらゆる手段を模索し、可能な限り粘り強く、用地取得に向けて取り組むことを求める。

答 これまでも積極的に土地所有者と交渉を行い、用地取得に努めてきたが、区が提示できる価格との乖離が大きく、取得が困難となる状況が発生している。区として、現状の枠組みの中であらゆる方策を模索し、粘り強く用地取得にあたっていく。

福祉施策について

問 コロナ禍で外出する機会が減り、身体や脳の機能が低下した高齢者が増えている。高齢者が元気を取り戻すためにも状況に応じたフレイル対策に更に注力すべきと考えるが、見解を問う。

答 区では、コロナ禍によりフレイル対策の重要性がさらに増したことから、様々な工夫を凝らして各種取り組みを進めてきた。第9期高齢者プランの策定にあたり、関係部署・団体との連携を更に深めながら、地域のあらゆる資源を活用することで、必要な施策を強力に推進していく。



健康づくり体操
荒川区YouTubeチャンネル

問 障がい者が地域で自立していくために、親なき後対策として、グループホームの誘致・整備や経済的自立に向けた支援が必要であるが、現状を問う。また、たんぽぽセンターの児童発達支援センターへの移行について、一刻も早い実現を求めるが、区の見解を問う。

答 グループホームの誘致・整備については、国や都に引き続き要望を行う等、早期実現に向け取り組んでいく。障がい者の工賃向上に向けては、共同受注等の取り組みを更に進めていく。また、たんぽぽセンターの機能拡充については、令和6年度の本格実施に向け、4月から相談窓口体制を強化し、併せて改修工事の実施準備を進めている。

問 たんぽぽセンターで実施しているペアレントメンター事業を小中学校の特別支援教室でも実施するよう要望する。また、保護者がスクールカウンセラーに相談しやすいように広報していくことも必要と考えるが、区の見解を問う。

答 ペアレントメンター事業を小中学校でも実施するという提案について、早速具体的な検討を進めていく。スクールカウンセラーによる保護者相談については、リーフレットや区ホームページ、学校便り等を通じて広く周知を図っていく。

その他の質問項目

- 今後の行財政運営について
- 教育について
- 再開発について



物価高騰対策と子育て・教育支援について

森本 達夫 (公明党)



物価高騰対策について

問 物価高騰対策の更なる推進のために、幅広い世帯の方が利用できるキャッシュレス決済ポイント還元事業の実施を要望するが、見解を問う。

答 区内の消費拡大に対する効果が限定的なため、区独自に事業を実施することは困難と考える。引き続き、都の動向も注視し、対応を検討していく。



▲キャッシュレス決済

問 医療機関に対する追加の物価高騰支援策について、支援の対象外の接骨院等にも広く支援が行き渡るよう重ねて要望するが、区の見解を問う。

答 都の補助制度の詳細を把握の上、区内の医療機関等に十分活用されるよう支援に取り組むとともに、引き続き、国や都の動向を注視していく。

子育て・教育支援について

問 共働きの家庭などが直面する「小1の壁」問題について、区として「朝の子どもの居場所」の環境整備を含めた「新・放課後子ども総合プラン」

の着実な実施を要望するが、区の見解を問う。

答 社会全体の子育てへの理解を深めることが大切であり、他自治体の取り組みを参考にしながら、勤務時間配慮等への事業者の理解促進も含め、放課後子ども総合プランの推進に努める。

問 今後、学校施設を建て替える際は、設備等の全面的な改善を要望する。建て替えがない学校でも照明など最善の対応を要望するが、見解を問う。

答 学校施設の改善にあたり、建築基準法等の関係法令に適合させ、必要な設備機器の更新に努めていく。建て替え時期が後半になる学校は、費用対効果を検証の上、計画的に改善していく。

その他の質問項目

- 孤独・孤立対策推進のための地域協議会設置



東尾久運動場と荒川区政の司令塔について

宮本 舜馬

(ゆいの会(都民ファースト・国民民主・あたらしい党・無所属))



東尾久運動場について

問 小広場（ゲートボール場）のベンチの日除けについて、すだれの取り付け等によって状況の改善が可能だと思うが、区の見解を問う。

答 日除けの改善については、利用者からも同様の声が届いており、区としても既に改善に向けて検討している。

問 多目的広場の人工芝化のこれまでの検討状況とこれからの対応について区の見解を問う。また、小広場同様、多目的広場のベンチの日除けについて、現状の改善を求めるが、見解を問う。

答 整備工事の際、地中にダイオキシン類が検出され、残した樹木の根腐れによる地盤沈下の恐れがあったこと、地中深く基礎を埋め込めず工作物設置が困難であったことから、土地所有者である都の意見も踏まえ現状の形で開設した。根の状況や工作物設置の工法等について調査し、都と調整した上で、人工芝化や日除けの設置を検討する。



◀東尾久運動場
(多目的広場)

荒川区政の司令塔について

問 令和4年度の特別委員会内の質疑で「区の司令塔である副区長に答弁を」という区議の発言に対し、副区長が答弁を行ったが、区政の司令塔は区長であると認識している。区の見解を問う。

答 当該委員会における対応については、区長の指示に基づき、実務の指揮を執り行っている立場で、副区長が答弁を行ったものであり、区政の司令塔は区長である。

その他の質問項目

- 教育実習の実施方法について
- 火葬費用の値上げについて
- 町会のデジタル化へのサポートについて



第9期高齢者プランと子育て支援について

斉藤 邦子 (共産党)



第9期高齢者プラン作成にかかわって

問 介護職員の処遇改善の財源として、国の交付金等の引き上げが必要と考えるが、見解を問う。

答 国の動向を注視しつつ、引き続き、国に対して必要な事項について要望していく。

問 区として送迎運転手の確保を行い、事業所の枠を超えた合理的な送迎体制を検討すること。

答 一人ひとりに応じたきめ細やかな対応や、事業者間の調整等の課題もあり、実施は困難である。



◀介護施設の送迎

問 書類作成等の負担軽減を図るとともに、介護予防・日常生活支援総合事業の報酬を要介護サービスと同額の報酬に引き上げることを求める。

答 事務負担の軽減を進めている。報酬引き上げは介護保険料への影響等から、慎重な検討が必要である。

問 通所デイ・通所リハの食事代を、利用者負担軽減のため、区で補助することを求める。

答 食事提供の無い利用者との公平性の観点から利用者が実費相当額を負担することが妥当と考える。

問 同居家族がいる場合の家事等生活援助の制限を見直し、区独自支援を行うことを求める。

答 家事援助サービスについて、引き続き介護事業所等と連携を図りながら支援を進めていく。

子育て支援について

問 学校で常備できる教材教具について検討し、2024年度から公費で実施することを求める。

答 都や他自治体の動向を注視し、各学校から意見を聞きながら、保護者の負担軽減を図っていく。

その他の質問項目

- マイナンバーカードと保険証の一体化について
- 移動投票所の導入等の投票支援を検討すること



三河島駅前北地区市街地再開発事業とながらスマホ条例について

鬼頭 あきゆき
(立憲民主党)



三河島駅前北地区市街地再開発事業について

問 区が計画している多目的アリーナの整備内容について、検討状況を含め現状を問う。また、若者に人気のあるスポーツの会場として整備されれば、スポーツ振興とともに街の活性化にも繋がると思うが、区の見解を問う。

答 多目的アリーナは、現在利用の多いバスケットボール等のほか、パラスポーツやeスポーツ、様々な文化芸術活動やイベント等の会場利用も想定している。区としても、若い世代の方々をはじめ、多くの方に活用いただける施設となるよう、

検討を進めていく。



◀三河島駅

ながらスマホ条例について

問 区では、危険な行為である「ながらスマホ」を防止するために条例を制定しているが、他自治体の条例制定状況と区内における「ながらスマホ」に起因する事故の発生状況について問う。今後、小中学校などの教育機関や区が主催するイベント等において、条例の普及と意識啓発により注力していくよう要望するが、区の見解を問う。

答 他自治体においても、足立区や墨田区等の都内自治体の他、神奈川県大和市、大阪府池田市等で同様の条例を制定している。区内で、ながらスマホに起因する重大事故は発生していないが、区報による広報や青パトによる注意喚起等、様々な対策に取り組んできた。今後、関係機関との連携の更なる強化に努めながら、区民への周知、啓発をより一層強力に推進していく。

その他の質問項目

○キャッシュレス決済に関する区の取り組みについて



区民の命と未来を少しでも守るために今備えるべきことと産業振興について

齋藤 泰紀
(自民党・次世代)



区民の命と未来を少しでも守るために、今備えるべきことについて

問 災害に関する情報と現状を即座に収集・把握し、且つ、発信できる最新機器が整備された防災センターが必要である。新庁舎建設に直接関連するものであり、公共施設整備基金を、堂々と「新

庁舎建設基金」として積み立て、長期に渡らないでいただきたい。区民・事業者・その他にも、広く建設資金のご寄付をお願いするべきと考えるが、区の見解を問う。

答 本庁舎の建て替えについては、現状分析や課題の洗い出し、施設規模等について検討を進めている。災害時の拠点としての機能強化は重要な視点であり、耐震性の確保や先進機器の導入等、災害対策本部機能の充実・強化を図る必要がある。庁舎建て替えを目的とした基金の積み立てと併せて、寄付についても検討を進めていく。

問 令和あらかわ病院が災害拠点病院として早期に指定されるよう区も支援すること、また、旧外来棟を早急に解体し、充実した検診機関として整備することを要望する。

答 都など関係機関との協議を重ね、災害拠点病院の早期指定に取り組んでいく。旧外来棟は、病院側から検診実施と建替検討の意向が示されており、区として対応策を早急に検討していく。

問 宮前公園第三期の整備について、大規模なインフラ整備や大規模備蓄倉庫、野戦病院化等の計画の進捗を問う。第一期、第二期の整備を踏襲することなく、魅力的な公園にするよう要望するとともに、開設予定まで待つのではなく、段階的な整備の実施に期待するが、区の見解を問う。

答 宮前公園第三期については、災害時における活動拠点として機能させるため、備蓄倉庫や医療救護活動に必要な発電機等の整備を予定しており、平時におけるインクルーシブ遊具の導入や豊かな植栽のある空間の創出等、検討を進めている。また、工程を工夫するなどにより、部分的な開園についても検討していく。

問 交流都市については、災害時の相互救援と、特に子供たちの交流及び現地での体験が重要であると考える。交流都市との関係の再構築や関係を深めることについて、区の見解を問う。

答 教育・文化・スポーツを通じた交流によって、より豊かな区民生活の実現やわがまちへの愛着の醸成を図ってきた。加えて、災害発生時の相互応援協定を締結し、実効性のある応援・受援体制の整備を進めている。日頃から顔の見える持続可能

な関係づくりをより一層進めていく。

産業振興に関連して

問 様々な業種の新規事業を志す方の積極的誘致、創業後の更なる支援策が必要であり、具体の支援策を求める。また、設備投資は極めて重要であり、区内での創業が5年以上という補助要件は再考の余地があると考えますが、区の見解を問う。

答 区では、創業相談や創業支援融資、コワーキングスペース「ツムギバ」の運営等を実施しており、創業後も、伴走型の相談支援を継続するとともに、融資斡旋の実施等、経営基盤強化の支援も実施している。設備投資補助の要件である、5年以上の事業継続年数の緩和については、国や他自治体の事例も参考にしながら検討していく。



◀「コワーキングスペース「ツムギバ」（ふらっと）につぼり内」

問 区内事業者ができる限り受注できるよう、全ての部署において要件や実績、その見直しも含めて洗い直し、更に努力することを期待する。

答 区内事業者のみを対象とした入札の実施等、受注機会確保に努めているが、今後も、発注方法や要件の設定等について検討し、区内事業者の受注機会の拡大と事業者育成に努めていく。

その他の質問項目

○子供の遊びや学びの環境整備等について



HPVワクチンとSDGsの取り組みとしての廃食油のリサイクル事業について

松田 智子(公明党)



HPV（子宮頸がん予防）ワクチンについて

問 区として、HPV ワクチンの有効性・安全性をより多くの接種対象者とその家族に伝え、接種の

推進を図るべきと考えるが、区の見解を問う。

答 これまで、区報やあらかわ遊園でのライトアップ、出前授業等により有効性や安全性の周知を行ってきた。引き続き積極的に周知を図る。

問 男性に対する任意予防接種助成を実施し、男性・女性ともにHPVワクチンによる感染の効果的な抑制を行うべきと考えますが、区の見解を問う。

答 まずは女性に対する接種率の向上を着実に進めつつ、男性に関しても、引き続き国や他自治体の動向を注視していく。

SDGsの取り組みとしての廃食油のリサイクル事業について

問 各家庭から出る廃食油を回収する専用ボトルを区民に配布し、リサイクル事業のシステム化を促進していくべきと考えますが、区の見解を問う。

答 専用ボトルの管理方法等、課題もあるが、廃食油のリサイクルについて事業者の取り組みや区内での展開も注視し、調査研究を行っていく。



◀「廃食油の回収ボックス（区内各所に設置）」

問 あらかわ遊園のイルミネーションについて、区民から回収した廃食油を精製した燃料の発電で点灯することを要望するが、区の見解を問う。

答 廃食油を利用したバイオディーゼル発電機は、園内パレード用のイルミネーション付き電動自転車の充電に活用するなど、園の集客とSDGsの啓発が相乗効果となる取り組みを推進する。

その他の質問項目

○低体重児向け「リトルベビーハンドブック」の作成について





大雨時の避難計画等と京成町屋駅東側一帯の安全対策について

山本 剛

(ゆいの会(都民ファースト・国民民主・あたらしい党・無所属))



大雨時における区の避難計画・災害対策について

問 6月3日大雨時の避難場所開設の区民周知状況を問う。今後は日中のうちに避難場所を開設し、SNS等で周知すべきと考えるが、見解を問う。

答 当該日はホームページと防災アプリで周知を図った。円滑な避難場所開設に努めるとともに、各種広報媒体による迅速な情報発信に努めていく。

問 水害時の緊急安全確保のための避難スペースとして、協定を結んでいる施設について問う。

答 大学や駅舎等の都立施設と協定を締結している。引き続き避難スペースの充実に努めていく。

問 大雨の最中でも、道路冠水解消のための雨水枡の清掃が必要と考えるが、区の見解を問う。

答 大雨洪水警報の発令前からパトロール等を行い、雨水枡に溜まったごみ等を除却しており、警報が発令された場合も、同様に実施している。

京成町屋駅の東側一帯における通行・安全対策

問 藍染川通りの歩道に設置のプランターをガードパイプに変更することで歩行者の保護及び動線の確保が期待できると思うが、区の見解を問う。

答 プランターをガードパイプに変更する作業を花の木交差点から順次進めており、京成町屋駅の周辺についても準備をしているところである。



▲ 藍染川通りのプランター

問 京成町屋駅東側は人が滞留しやすい。安全を基本として、スムーズに行き来できる駅周りにすることが大切と考えるが、区の見解を問う。

答 都の道路整備事業が完了すれば、安全で快適に通行できる空間が創出されるため、都に対し、

早期に事業に着手するよう引き続き要望していく。

その他の質問項目

○町屋地区を想定したデマンド交通について



西日暮里駅前地区再開発と住宅対策について

小島 和男(共産党)



西日暮里駅前地区再開発について

問 事業の透明性の確保のため、参加組合員予定者の選定経過・評価基準等、区民と議会に全面的に公開することを求めるが、区の見解を問う。

答 令和4年11月に参加組合員の選定を開始し、評価のポイント等は準備組合の総会で公表され、建設環境委員会でも報告したところである。



▲ 西日暮里駅前再開発イメージ図

問 再開発の推進により、学校・子育て施設等の社会的インフラの不足が懸念されるが、1000戸の住宅建設による計画を明らかにすること。

答 参加組合員予定者の提案は、周辺の小中学校への影響に配慮されたものであり、保育施設についても、周辺地域の子どもの受け入れも可能となる提案で、区が求める内容が反映されている。

住宅対策について

問 従前居住者用住宅を、不燃化特区をはじめ木造密集地域全域に拡大し、老朽住宅の建て替え・住み替え等を促進することを要望する。

答 今後、大幅に入居希望者が増えた場合には、UR都市機構からの協力が得られることを前提に、従前居住者用住宅の拡大を検討していく。

問 震災から命を守るためにも、住宅困窮者へ支援策として、高齢者・ひとり親世帯・若者等への

家賃助成を実施するよう要望する。

答 住宅困窮者に対して、民間賃貸住宅に入居する際の保証料補助等の支援を行っているほか、入居を受け入れる住宅の所有者等に対し、改修費や家賃の一部補助について検討を進めている。

その他の質問項目

○紅葉橋へのエレベーター・エスカレーター設置について



少子化・子育て支援の更なる充実と骨粗しょう症検診の実施について

増田 峰子(公明党)



少子化・子育て支援の更なる充実について

問 補正予算に計上された、0歳児から2歳児の第二子の保育料無償化について、高く評価する。未曾有の少子化・人口減少を乗り越えていくために、第一子の保育料無償化についても、国に要望すべきと考えるが、区の見解を問う。

答 0歳児から2歳児の第一子の保育料無償化については、広域的に対応する必要があると考えている。子どもの権利を大切に守るとともに、安心して子どもを産み育てることができる地域社会の実現に向けて、今後の国における保育改革の動向を注視しながら、国や都に要望していく。

区における骨粗しょう症検診の実施について

問 国が発表した第五次国民健康づくり計画「健康日本21（第三次）」においては、骨粗しょう症検診受診率の向上が新たに目標として設定されているが、区は、この検診を実施していない。区の高齢化率は23区の中でも高く、要介護のリスクを減らすためにも、精度の高い方法を用いた骨粗しょう症検診の実施を要望するが、区の見解を問う。

答 区では、平成7年度に骨密度測定を開始したが、新型コロナウイルスの感染拡大を契機に、令和2年度に休止し、測定に代えて骨粗しょう症予防の情報提供を行ってきた。骨粗しょう症検診は、専門医の診察のもと、区民に対してより正確な情

報提供を行う必要があると考えており、関係機関と協議を重ねながら、有効な対策を検討していく。



骨密度検査（DEX法）

その他の質問項目

○在宅育児支援の強化について
○公衆トイレのバリアフリー化の計画実施促進について



行政評価とふるさと納税について

花澤 昭信

(ゆいの会(都民ファースト・国民民主・あたらしい党・無所属))



行政評価について

問 施策分析についてはアウトカム指標による評価を徹底するとともに、事務事業分析においても可能な限りアウトカム指標を含めて評価を行い、精度を高めるべきと考えるが、区の見解を問う。

答 事業の成果を図るためにアウトカム指標を設定することは重要な視点であり、次期の実施計画の改定作業等に合わせて、成果指標の確認等を行い、必要な見直しにつなげていく。

問 アウトカム指標の設定および行政評価スキームの改善にあたり、事務事業もしくは施策ごとにロジックモデルを作成・利用すべきと考えるが、区の見解を問う。

答 現在区で実施している行政評価の事業体系は構造的にはロジックモデルと類似の考え方によって構成されており、次期の実施計画の改定作業に合わせて試行的に検証し、検討を進めていく。

ふるさと納税について

問 返礼品販売において市場調査と3C分析の実施が必要と考えるが、区ふるさと納税に関する

現状の課題分析と、課題に対する今後の対応について、区の見解を問う。

答 いかにも魅力ある返礼品を用意し、PRしていかかが課題であり、体験型返礼品や魅力ある返礼品の発掘・開発等に取り組んでいく。

問 返礼品販売において市場調査等を踏まえたマーケティング戦略が必要と考えるが、見解を問う。

答 今年度新たに二つの民間ポータルサイトを利用できるようにするなど、寄付額の拡大につなげている。今後も様々な工夫を重ねながら、最大限の効果が得られるよう、取り組みを進めていく。



◀ふるさと納税
返礼品(例)



障がい者サービスの拡充と高齢者に関する各種保険制度への加入支援について

山口幸一郎(公明党)



障がい者サービスの拡充について

問 障がい者を介護する家族の負担を軽減し、障がい者本人にとっても生活のメリハリとなり、社会参加や楽しみである入浴サービスについて、利用定員を拡充すべきと考えるが、区の見解を問う。

答 スクラムあらかわの体制の強化による利用定員の拡大について、事業者と協議していくほか、巡回入浴についても、委託事業者の拡充等、利用しやすい環境整備について検討していく。



◀スクラムあらかわの
入浴設備

問 「区立在宅高齢者通所サービスセンター」再編に伴う施設設備の今後について、貴重な区有財産を最大限活用し、不足する障がい者の施設入浴サービスに活用すべきと考えるが、区の見解を問う。

答 区立在宅高齢者通所サービスセンターの再編時には、センターに整備している入浴設備を、障がい者の施設入浴に有効に活用できるよう柔軟に対応していく。

高齢者に関する各種保険制度への加入支援について

問 認知症の方が事故やトラブルを引き起こしてしまった際の個人損害賠償保険の加入支援をすべきと考えるが、区の見解を問う。

答 区としても、既に先行している自治体の事例を参考にしながら検討を進めていく。

問 「高齢者住宅契約貸主助成事業」について、家賃保証費用も含めた内容に見直すべきと考えるが区の見解を問う。

答 関係団体と意見交換を行いながら、助成事業の見直しに向けて検討していく。

その他の質問項目

○部活動指導員について



音声配信のご案内

本会議の様子及び委員会の音声を Youtube で配信しています。会議当日に配信を行うほか、荒川区議会 Youtube チャンネルから過去の映像及び音声を視聴することができます。

▶区議会 Youtube チャンネル

